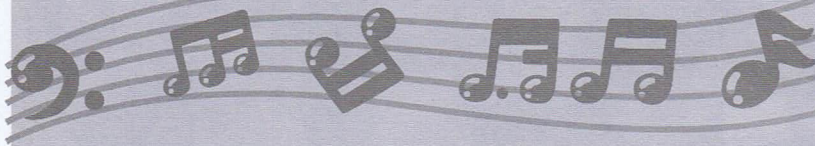


不滅のヒット曲メドレー

Fight! の曲に感動!!



大盛況のうちに
フィナーレ

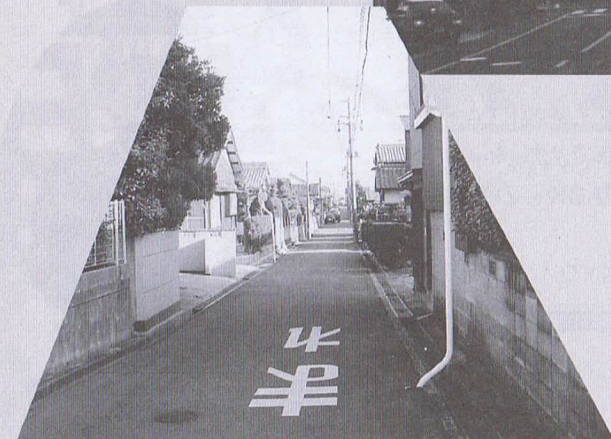


自治会紹介

別名第三自治会

北側に位置し、世帯数約三百五十戸と、羽津地区では二番目に多くの世帯を持った町です。昭和三十年代後半より霞ヶ浦臨海地区の開発と相まって発展した町で、三十年を越える歴史がさまざまな、閑静な住宅地となりました。

四日市市と関係の皆様方の努力により完成した、垂坂公園羽津山緑地の整備



羽津地区のほぼ中央に、地域としては唯一の東西に海より山までまっ直ぐに伸びた幹線道路があります。羽津小学校と羽津北小学校の校区を分ける道路で、霞ヶ浦と垂坂公園羽津山緑地を結ぶ道路です。私達の町、別名三丁目、この道路の最西端で道路よ

も行届き、朝な夕な散歩道、幼稚園児たちのハイキングコース、中学生の通学路、夏の花火大会、正月の初日の出と、地域以外の方々にも利用され、この道路は賑わいをみせております。我が自治会は、環境整備の充実を目指し、年四回の町全体の清掃と月一回の持ち回りの児童公園の清掃を、住民と企業、遊休地所有者にも働きかけて実施しております。今後もきれいに整備された住みよい明るい町を作るよう、新しいアイデアも積極的に取り入れ、全住民が老いも若きも、皆で努力、活動します。暖かいご支援をよろしくお願いたします。

昨年十二月十五日に羽津北小学校にて、結成二十周年記念行事が行われました。野崎 洋三酒野球少年団会長をはじめ、有竹校長、羽津北少年団を支えてくださった方々に出席していただき、戸田監督（菟野高校）の高校野球の現状などのお話や、さまざまなアトラクションで盛り上がりました。

今後チーム一丸となってがんばりますので、地域の皆さんの応援をよろしくお願いたします。

羽津北野球少年団 創部二十周年

昨年十月「第三十三回体力づくり市民大会」が、中央緑地をメインに開催されました。羽津地区にとっては二回目、二十数年ぶりのトップ行進にあたり、記念すべき大会でした。先頭の国旗、市旗は八田子供会が参加、体振山本会長以下に、堂々の行進でした。

今大会の特色は、グラウンドゴルフだけでも八百名を超える参加があったことで、底辺の広さを感じられます。羽津地区は、グラウンドゴルフ、インディアカ、ソフトボールに上位入賞がありました。四千名余りが参加する

「羽津」トップ行進!



この大会に来年も皆さんの多くの参加をお願いします。《体育振興協議会》



↑力強い行進…新一年生



↑うまく口に入るかな

いくつか入ったかな→

運動会

《町別対抗玉入れ結果》

優勝	羽津
二位	いかるがB
三位	城山



↑お化粧レーク

文化祭

文化部の長年の課題だった「地区文化祭を十一月に開催」が実現しました。これは昨年度の文化祭直後に行ったアンケート結果が大きく反映されたからです。今回も文化祭に協力していただいた社会福祉協議会、サークル、学校などの各団体の皆さんにご意見をうかがいました。その結果、実施時期について、秋には社会福祉協議会や他の団体の行事が集中している問題や、模擬店の内容、運営方法、作品展示、舞台発表のこと、各コーナーについての感想など、有意義な意見が多く寄せられました。これらの内容を協議し次回の文化祭だけでなく来年度からの行事にも参考にさせていただきます。

文化部会では、大人も子供も地域の一員であると感じられる、よりよいものにするために努力していきたいと思っています。今後とも皆さんのご支援、ご協力をお願いいたします。

陶板づくり



熱唱♪レッツ・サーチ・トゥモロー 羽津中学校



館内に太鼓のひびき 羽津文化幼稚園

羽津里山まつり



日時 / 11月24日(日)

MACK・ZOOM UP

マック・ズームアップ



場所 / 垂坂公園羽津山緑地 交流広場・エントランス広場

～はじめてのころみ～

羽津地区の行事としては初めての羽津山緑地を会場とした「羽津里山まつり」。
 11月も後半ということで、天候が心配されました。今にも泣き出しそうな空模様でしたが、時折日も差し、紙飛行機がまっすぐ飛んでいくような天気になりました。
 来場していただく皆さんに楽しい一日を過ごしてもらおうと、各種団体・各校PTA・センター職員で成る実行委員会のみなさんでいろんな案を出し合い開催することができました。
 工夫をこらした楽しい各コーナーやコンサートに出演していただいたMACKとZOOM UPの皆さんの演奏など、すばらしいイベントになりました。
 ボール投げ、ペンダント作り、ちびっこ免許証など子どもたちの目が輝いていたのが印象的でした。



井上市長あいさつ



地元出身 中原君(マック)



うまく乗れたね



森連合自治会長
あいさつ



全員で♪明日があるさ♪ 合唱



東ソー株式会社音楽部 ズームアップ



すてきなペンダント
できるかな?



なかなか切れないね



ぜんざいは 白玉入り



無免許運転はダメよ

災害に強いまちづくり

非常持出品を用意しよう!

次に挙げたものを参考に、家族構成などに配慮して準備しましょう。

- ◆貴重品
現金(10円硬貨があると公衆電話の利用に便利)
預貯金通帳、印鑑、運転免許証、健康保険証など。
- ◆携帯ラジオ、懐中電灯
四日市市では、FMよっかいち(76.8MHz)で災害時の緊急情報を提供します。
予備電池は多めに用意!
- ◆応急医薬品
絆創膏、傷薬、包帯、胃腸薬、鎮痛剤など。
- ◆非常食品
かんパン、缶詰など火を通さなくても食べられるもの。
ミネラルウォーター、水筒、紙皿、紙コップ、ナイフなど。
- ◆その他
下着、上着などの衣類。
スリッパ、タオル、ティッシュ、雨衣、ヘルメット、マッチ、ライターなど。

避難後の生活必需品として、米(レトルトも便利)やレトルトのおかず、缶詰などの食料品や飲料水(ひとり日3リットルを目安に)、卓上コンロ(ガスボンベ)、毛布や寝袋、バケツ、洗面用具などを用意しておくといでしょう。



自主防災活動に取り組もう!

【自分たちのまちは自分たちで守ろう】

- ◆地域ぐるみで万全な防災体制を
地震などの大規模な災害が発生した場合、自治体や消防機関などによる消火救援などの活動が十分に機能しないことが予想されます。このような災害時、地域ぐるみによる防災活動や助け合いは災害を最小限に止めるばかりか、スムーズな復旧活動にも不可欠です。
日ごろから交流を深め、いざというときに協力し、助け合える地域づくりを目指しましょう。
- ◆自主防災組織をつくろう
地域ぐるみによる防災活動の中心となるのが自主防災組織です。四日市市では自治会を中心とした自主防災隊の結成および育成を進めています。地域の自主防災活動にみんなで参加し、災害に強いまちをつくりましょう。

(問い合わせ先:四日市市防災対策課 54-8119、四日市市消防本部消防救急課 56-2005)

あなたの避難場所は…(自治会別の避難場所)

避難場所	電話	自治会名
富士電機体育館	30-1511	富士町
羽津地区市民センター	31-4465	羽津町第3
羽津小学校	31-4474	羽津町第1・羽津町第2・金場町
	30-0035	城山町・山手町・大宮第1・大宮第2・大宮第3・羽津山町
羽津幼稚園	31-4712	大宮西町
羽津保育園	31-6987	羽津中第1・羽津中第2
羽津北小学校	64-9886	八田第1・八田第2・八田第3
	30-2005	霞ヶ浦町南部・霞ヶ浦町北部
		鶴町(南いかるが町を含む)
羽津中学校	33-0267	別名第1・別名第2・別名第3
	30-0049	別名第4・別名第5・別名第6
羽津会館	31-9842	白須賀町

大地震(災害)のときのあなたの避難場所

大地震(災害)のときの対策

- 平素から心がけて準備しておくこと…
- ①非常用持ち出し物を備えておく(ラジオ・懐中電灯・非常用食料・医薬品・下着等)
 - ②寝室にあるものは倒れないように固定する
 - ③寝室にガラス戸があればカーテンを取り付ける
 - ④風呂の水は翌日におとす
- 地震が発生したら…
- ①一番安全なところに避難する(室内では机の下、屋外ではなにか倒れてても下敷きにならないところ)
- 避難場所へ避難するとき…
- ①ガスの元栓をしめる
 - ②電気のブレーカーを落とす
 - ③非常用持ち出し袋を持参する
 - ④家族の安全を確認する
 - ⑤屋外に出たら近所の人々の安否を確認する

羽津地区連合自治会



老人クラブ春風会



春風会では老人や子どもとのふれあい、地域奉仕の活動に取り組んでいます。ひとり暮らしや寝たきりのお年寄りの話し相手のため、毎月一回訪問し、年四回訪問し、年四回はお菓子やジュースをもって出かけて行きます。保育園や幼稚園の子どもたちといっしょに、笹舟作りやマフラーを編み、同伴遠足でお寺参りもします。また、園児とともにさつまいもやたまねぎを植え収穫を楽しんだりしています。奉仕活動ではヴィラ四日市を訪問し、入所者の相手や配膳の世話、草取りの活

動もします。また、花火大会会場はじめ、志氏神社、城山公園、霞ヶ浦駅、羽津会館周辺などの清掃奉仕活動も行います。

クラブの独自活動としては、一月に楽しい伊勢詣、四月には善光寺に物故者永代供養、五月は総会で会員千三十五名全員に紅白饅頭持参で友愛訪問をしました。十月は本年度の物故者三十六名の追善法要を執り行いました。また、毎月一回は教養講座で学ぶ活動をしています。今年竹馬を一〇脚作って「羽津里山まつり」に参加しました。おともも子どもも珍しがって乗り回し、壊す人あれば、直す人ありの大忙しの日でしたが、多くの方に喜んでもらえたと思います。

学習活動や能力を生かす機会も増え健康保持と生きがいづくりの活動をしています。

みんなで食べると“おいしいネ”

ひとり暮らし老人のつどい

昨年十月二十五日、羽津民生委員とふれあいの会との協力により行われました。当日は天候にもめぐまれ、午前中は、四日市市交通安全協会女性部の役員さん方による、お年寄りのための交通安全守劇「サザエさん」を楽しみました。また、北警察署交通課福森係長さんのお話を聞いた後、お昼ご飯を皆さんと一緒にいただきました。

午後は、みんなで懐かしい歌を歌ったり、我々とふれあいの会が持参した品物をくじ引きしたりして、楽しく過ごす事ができました。



民生委員・ふれあいの会



交流餅つき

去る二月十九日に羽津会館で羽津障害児親の会「つばさ」が餅つきをおこないました。会では昨年、垂坂公園・羽津山緑地の人工池(めだか池)を整備しながら水遊びをして交流を深めてきました。今回は家庭では体験できないお餅つきを見せてやろうと、地区の民生委員の皆さんが準備してくだ

べったんこ べったんこ

馴れた手つきで見事につきあげられていくお餅に、子どもたちも興味津々でうすの周りを取り囲み、何度もせがんで餅つきする子もいて楽しい時間を過ごしました。

消防出初式

四日市市消防出初め式が一月十二日(日)四日市ドームで、当地区消防団員など約七百七十人が参加し盛大に行われ、式典では消防功労者の労がねぎらわれました。火災の恐ろしさや、今後発生するかもしれない大地震対策、災害のために物と心構えの事前準備の大切さも呼びかけられました。7ページの特集記事ぜひお読みください。

実践訓練では、毒物がまかれ被災者がいるという想定で救助が行われ、また、負傷者の応急措置、搬出など分担して行い、きびきびとした動作で実践さながらでした。

最後は陸・海・空が一体となった放水訓練で青、赤など色水を海上に向け放水し、水し、見学者から拍手を送られました。





永年にわたり

ご苦労様でした

森会長退任

社会福祉協議会会長として活躍いただきました森安吉さんが本年度をもって退任されることになりました。

森さんは四日市市議会議員を四期十六年勤められ、第五十三代議長を経て、平成元年から現在まで羽津地区連合自治会長、羽津地区社会福祉協議会会長の要職を勤めてこられました。

この間、各種イベントにも常に先頭にたっていたいただきました。また、CTYを羽津地域全戸に接続（中電をはじめ四〇五社にて約六億五千万円を負担）することに尽力されたことなど地域課題の解決に強いリーダーシップを発揮されました。文字どおり平成の羽津の町づくりを尽くしていただいたことに感謝するとともに、今後も羽津地区の発展にご指導ご鞭撻をいただきますようお願いいたします。

『ダメゼツタイ』は薬物乱用防止の合い言葉

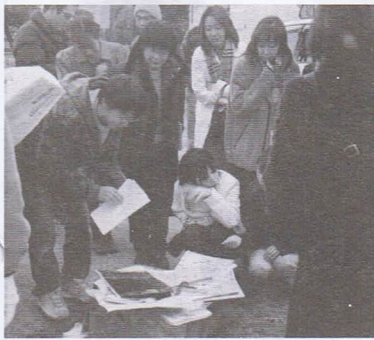
十六年ぶりの出会い

新春の一月四日、羽津北小学校で十六年ぶりにタイムカプセルが掘り起こされました。

これは、昭和六十二年三月卒業生のお父さんに作ってもらった箱を校庭西門脇の地下一メートルほどに埋めたものです。

三十一名余りの卒業生と担任の先生が見守る中、封印をとかれたカプセルには当時の新聞、文集や記念写真、名札など思い出が詰まっています。

すっかり大人になった今の姿と当時の写真を比べ、あちこちで歓声があがりました。先生方も名簿を見ながら思い出話に花が咲くなど、みぞれまじり空のもとでしたが、心温まる同窓会となりました。



羽津絵本の会

絵本に興味のある方、子どもにもどんな本を選んだらいいのか迷っている方、心を元気にしたい方大歓迎です。絵本の世界を楽しみましょう。

月別テーマにそって、その場で絵本をじっくり読み、感想を話し合った後、子どもの本研究会の鶴飼さんにその絵本についてポイントをお話しいただきます。お子さんも



一緒にどうぞ。
●毎月第二木曜日（原則）
十時～十二時
●羽津地区市民センター和室
会費・一回三百円

サークル紹介

センターの和室を教室に、四季それぞれに添ったお茶事の稽古をしています。静かにお湯のたぎる中でお手前に励み、香り高い抹茶とお菓子をいただきます。多忙な毎日の中、ゆつたりとした幸せなひとときです。

文化祭の呈茶コーナーのお世話には二人の中学生も参加し花を添えてくれました。皆さま是非一度見学がてらお立ち寄りください。お待ちしております。



●毎月第二・第四月曜日
十時～十二時
羽津地区市民センター和室
●会費・1ヶ月千円

羽津茶道クラブ

◆通学路が整備されます

社協環境・交通安全部会

編集室より
ひとりごと

羽津町の光明寺の山門は「転（ころび）」という特殊な構造をしています。今で言う耐震構造なのだそうです。この寺は安政東海地震の被害から学んだ先人のたちの知恵でした。

ところで駿河湾から御前崎沖では百年から百五十年の周期で大地震が繰り返し起こっていることから「東海地震」が想定されています。

前述の安政東海地震から百五十年、宝永地震（七〇七年）からは三百年を迎えようとしています。今日、明日いつ起こってもおかしくない。といわれています。

この機会に防災特集を掲載しましたのでご家族で話し合ってみてはどうでしょうか。